

## 秋成の著作にみえる書名索引稿

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Kigoshi, Osamu メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/23680">http://hdl.handle.net/2297/23680</a>

(14) 岩波文庫『法華経』(坂本幸男・岩本裕訳注、昭和三十九年三月刊)の訓みによる。

(15) なお、文殊師利は、龍女の現れる前に、娑竭羅龍女の女は菩薩に至る能力を具えていると、智積菩薩に語っている。

(16) (2)の松尾論文。

(17) 『雲玉和歌抄』(古典文庫、昭和四十三年三月刊)の夏部120「いひそめしむかしの宿のかきつはた色はかりこそかたみなりけれ」の歌の次に、「女の夢にかへしける哥」(傍点は引用者)として以「むらさぎの色にいてすはそれとみしいとよへたつる宿のむかしを」という返歌を掲げ、その左に「杜若の情の哥也是より女をかきつはたと云也」(「情」は「精」か)と注記している。なお、伊藤正義「謡曲と伊勢物語の秘伝」(『金剛』

## 秋成の著作にみえる書名索引稿

はじめに

秋成には蔵書目録や読書筆記(庭鐘)における「過目抄」のごとき

昭和四十年五月)「謡曲『杜若』考——その主題を通して見た中世の伊勢物語享受と業平像について——」(『文林』昭和四十二年十二月)は中世における『伊勢物語』享受は原典よりも古注に基づいてなされたことを検証している。

(18) 謡曲『定家』によって定家寫の名が成立したというのが通説である。つまり、このイメージは謡曲作者の創意によるものである。

(19) 『藤』は古い作者付には載らず、明和二(一七六五)年刊『二百拾番謡目録』に安清作としてその名が見え、また『梅』は明和の謡本改正の際の新作で、賀茂真淵らが書いたものかといわれている。

木越治

の類が知られていない。しかし、「雨月」「春雨」をはじめとする彼の著作を研究していく場合、この種の目録の必要性を痛感するところが少なくない。

今回、ごく杜撰なかたちではあるが、秋成の主要著作のうちから書名（一部作品名なども含む）を抜き出し整理してみた。もちろん著作に明記されている書名のみを拾ったもので引用文・引用歌等には及んでいないから、たとえば「雨月」について現在確認されている典拠書目の大部分は含まれないことになる。そういう欠点はあるにしても、秋成の説書傾向等を知る一応の目安にはなるかと思う。短時日の間に作製したため、意に満たぬ点が少なくない。また調査不足や見落し等による誤りも多いであろう。これらの点は、大方の御教示を得て、後日補訂の機会を得たいと思う。

凡例

- 一、書名（書名に準ずるものを含む）の表示は、『国書総目録』（和書）・『改訂内閣文庫漢籍分類目録』（漢籍）に主として拠ったが、秋成の表示を尊重した場合（「書名」の形で注記した。二、著作略号の下の洋数字はページ数を示す。
- 三、特に意味があると思われる異名は区別して示しその旨注記したが、他は一括し代表的な異名のみによって項目の下に示した。
- 四、書名の下位分類は——によって示すが、秋成が明記している

- ものにとどめ、それ以上の調査は行わなかったことが多い。
- 五、配列は五十音順を原則としたが、風土記や碑文類のごとく一箇所にあつめた場合もある。
- 六、序文類などにある当該の書名は採っていない。
- 七、その他問題になる点は適宜注記した。

著作略号ならびに底本一覽

- 猿||諸道聽耳世間猿、有朋堂文庫上田秋成集
- 妾||世間妾形氣、同右
- 雨||雨月物語、日本古典文学大系上田秋成集
- 機||書初機嫌海、古典文庫
- 談||瀾癖談、同右
- 春||春雨物語、日本古典文学大系上田秋成集
- 胆||胆大小心録、同右
- 一||上田秋成全集第一（雨・談・春・胆を除く）
- 二||上田秋成全集第二
- 遺||秋成遺文（胆・一・袖などと重複するものを除く）
- 袖||万葉集袖の袖、歌謡俳書選集八
- 茶||茶癖醉言、中村幸彦氏「近世作家研究」

I 和書

あ

- 愛花人の詞（楞亭）
- 堪囊抄
- 秋萩帖（小野道風筆）

- 一 68
- 二 314 351
- 袖 25

秋山の記（秋成）

朝忠集

浅間嶽を見て記せる詞（賀茂翁家集卷四）

- 一 172
- 二 362 382
- 遺 200

蘆屋道満大内鑑||蘆屋道満の狂言

意見十二箇条||意見封事十二条（三善清行）

春 167

一条 春 167 遺 77  
 四条 談 115 春 167 遺 82  
 五条 二 194 遺 78  
 十二条 春 167 遺 202  
 十六夜日記いざよひ 二 385  
 伊勢集 二 291 326 363  
 伊勢大神宮儀式帳 延暦の儀式帳(↓皇太  
 神宮儀式帳) 一 60 二 313 381  
 伊勢物語 勢語・在五中将物語 猿 72 談  
 174 二 67 79 95 110 159 385 386 387  
 403 408 遺 523 545 563 袖 216 376  
 安祥寺法会の段 二 151 袖 269  
 伊勢物語古意(真淵) 二 377  
 一夜四吟後集(蕪村等、↓此ほとり) 遺 584  
 今宮の心中(近松) 妾 173  
 伊予道後湯岡碑文(聖徳太子) 二 192 遺 75  
 岩橋の記(秋成) 一 73  
 印章備放(柳原玄輔) 一 495

う  
 浮世親仁形氣 親爹の吝嗇気質 妾 117  
 宇治大納言物語 二 301  
 薄雪物語 猿 87  
 うそ姫ものがたり(↓ふくろふ) 談 188  
 宇津保物語 猿 75 袖 322  
 え  
 柴花物語 猿 84 胆 332 二 386  
 うたがひの巻 胆 332  
 世継物語<sup>注1</sup> 二 9 11 12 219 239 袖 22  
 延喜式 機 10 二 51 109 141 151 152 167 320  
 402 遺 340 503 袖 79 143 269 360 499  
 祝詞 一 467 469 二 316 372 411 432 遺 523  
 祈年祭 二 371 袖 112  
 春日祭 一 469  
 竜田風神祭 二 167 396 遺 264  
 平野祭 一 469  
 大殿祭 一 278 袖 469  
 御門祭 一 469 二 313 340  
 六月晦大祓 一 469 二 313 340

鎮火祭 遺 183  
 道饗祭 一 469  
 神名帳 二 347 361 369 429 遺 302 309 316 331 337  
 内蔵寮 二 260 344  
 陰陽寮 二 91 袖 372  
 内匠寮 二 289  
 雅楽寮 二 203  
 諸陵寮 遺 30 359 袖 142 178  
 大膳職 胆 369 二 312 袖 14 183  
 内膳司 胆 369 二 312 袖 14 183  
 彈正台 二 293  
 左右衛門府 二 150 293  
 雜式 二 100 349  
 円光大師の伝記 釈源空伝記<sup>注2</sup> 一 35 146 遺 227  
 艶道通鑑(残口) 妾 119  
 大鏡 遺 564  
 おそめ久松袂の白紋(海音) 談 96

をだ巻網目(溝口竹亭)

二 451

落窪物語

談 174

温泉の考へ(稻生若水)

遺 195

か

槐記(近衛家熙)

胆 325

懐風藻

一 473 474 二 88 89 127 128 129 遺 59 60 63

277 496 553 袖 58 60 116 118 158 235 493 茶 248

柿本影供記||影供記(藤原敦光)

二 254 261

柿本大明神神階宣下次第||享保八年の宣命

二 266

柿本寺歌塚縁起||大和国添上郡柿本明神の

二 258

碑文(百拙元菴)

二 258

柿本朝臣人麿画讃||敦光の讃辭(古今著聞

二 256 264 265

集卷五などに所収)

二 256 264 265

柿本朝臣人麿勳文||人丸勳文・勳文(顯昭)

二 246 251 253 257

柿本大夫祠堂碑銘||明石の碑文(林鷲峯)

二 254 261

柿本人丸事跡考||人丸事跡考(大典顯常)

胆 326 328 二 250

大和国葛下郡柿本村碑文(林鳳岡)

き

二 260

石見国高角祠碑文(大典顯常)

二 267

歌経標式||浜成が和歌式

春 165

革命之諫||革命意見(三善清行)

春 169

蜻蛉日記

一 72 遺 455 497

歌聖伝(秋成)

胆 328 一 73 二 77 138 袖 129

敵討御未刻太鼓(長谷川千四)

妻 188 胆 288

花鳥余情(一条兼良)

二 481

仮名手本忠臣蔵

機 45

仮名日本紀

二 310

仮字問答(田安宗武、加藤宇方伎)

一 438

鐘筑波||几童追善集

遺 583

兼盛集

二 30 303 317 327 355

壁の賦

一 110 遺 302

神代かたり(秋成)

胆 258

雅遊漫録(大枝流芳)

遺 574 茶 228

歌林樸樾(松永貞徳)

二 226

菅家文章

二 481

冠辞考統紹(秋成)

二 428 遺 50

喫茶往来(玄恵)

二 499

橘窓茶話||雨伯陽茶話(雨森芳州)

二 220 遺 32

喫茶養生記(栄西)

二 483 484

京名所

談 174

玉海抄(九条兼実↓玉葉)

二 481

玉葉抄

二 314

玉葉和歌集

二 9 袖 430 472

馭戎慨言(宣長)

胆 312 一 195 426 435 481 492

清正集

二 326 374

清輔朝臣集

二 346

金槐和歌集

遺 242

金玉集(公任)

二 246 247 248

金砂(秋成)

二 226 茶 247

金葉和歌集

二 9

旧事記(↓先代旧事本紀)

一 424 472 478 二 64 351 遺 35 36

旧事記大成経(↓先代旧事本紀大成経)

一 472 遺 36 495

くらぶ山 遺 574

け

経国集 二 481

鉗狂人(宣長) 一 435

元亨釈書 二 265

源氏物語源語 猿 72 84 雨 35 談 70 114

一 39 二 16 68 110 167 363 392 401 遺 95 97 100 104

112 331 355 507 563 杣 340 376 499

桐壺 一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

梅枝 二 15 218 240 遺 42 杣 23 茶 247

宇治の巻々 遺 331

総角 二 385

頭昭陳状歌合陳状 二 18 222

頭注密勅 二 248 遺 525

源平盛衰記 一 146 遺 227

江家次第 二 293

古今集註頭昭の古今の注 二 322

古今余材抄契沖の抄 遺 525

古今和歌集延喜の勅撰 猿 72 胆 353 二 9

15 37 46 50 63 64 73 89 105 114 218 219 237 240

241 242 249 269 281 282 283 288 288 288 291 298 301 301

304 305 311 314 315 316 317 318 319 320 322 324 329 331

332 333 336 339 341 345 346 349 350 352 353 356 358 360

361 364 365 366 367 368 369 373 374 375 376 380 384 387

392 395 403 421 467 368 369 373 374 375 376 380 384 387

遺 114 二 211 遺 83

遺 104 杣 108

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

246 247 248 254 264 282 288 321 遺 43 119 524 656 杣 22

(貞応本) 二 10

統万葉集 春 164 二 9 217 遺 42 43

古今和歌集打聴(真淵) 遺 541

古今和歌集抄目錄(藤原仲家、人麿勸文に よる) 二 246 247 251

古今和歌六帖古今六帖・紀氏六帖 二 299 303 324 332 337 339 344

二 99 203 274 281 291 294 299 303 324 332 337 339 344

352 358 368 374 376 380 383 391 392 400 421 424 523 564 杣

227 424

古言梯(楯取魚彦) 一 438

古語拾遺(斎部広成) 二 424 479 二 335 468 遺 36 杣 242

一 470 遺 37

古事記 胆 254 一 109 82 424 450 466 467 472 473 474 476 477

222 478 479 482 二 80 289 86 115 117 128 162 174 182 201 221

235 245 275 285 289 294 297 311 313 316 338 340 347 355

356 359 364 370 378 389 393 396 398 407 411 415 417 418 419

426 427 428 429 430 432 432 5 11 14 17 21 33 33 48 57

39 44 45 46 49 109 194 288 502 514 523 杣 33 48 57

103 169 178 183 193 274 295 320 341 363 455

一 40 二 41

一 40 二 41

一 40 二 41

古事記の考正(宇万伎)	—	194			
古事記伝(宣長)	胆	373	—	195	
古事談	二	390			
後撰和歌集	胆	351	—	110	
	二	39	53	68	
	二	100	167	238	
	二	264	317	317	
	282	283	286	290	
	291	292	294	295	
	300	301	304	311	
	302	303	304	311	
	321	322	326	327	
	323	324	327	328	
	337	346	351	352	
	338	343	350	355	
	364	369	374	376	
	365	374	375	377	
	368	375	376	377	
	523	656	7	17	
	523	656	7	17	
	523	656	7	17	
	523	656	7	17	
	523	656	7	17	
後撰集の抄(藤原為家、↓後撰和歌集聞書)	二	401			
注)					
古今著聞集	二	254			
小大君集	二	368			
小町集	二	304	—	373	
古葉略要	二	379			
古采風体抄(藤原俊成)	二	219	—	239	
	二	376	—	382	
是則集	二	319			
古老相伝	二	467			
今昔物語	談	156	—	239	
	二	390			
—(古本)	二	257			
権記(藤原行成)	二	502			
西鶴伝授車(天狗堂転蓬)	妾	117			
斎宮女御集	二	290	—	293	
	二	323	—	324	
催馬楽	妾	121	—	430	
	二	421	—	430	
狭衣物語	二	385			
信明集	二	377			
更級日記	胆	351	—	110	
	二	39	—	238	
	二	382			
山家集	胆	304	—	374	
三十六人集	二	240			
三十六人歌仙伝	二	246	—	251	
	二	240	—	251	
塩尻(天野信景)	二	247	—	248	
詞花集	胆	302	—	177	
	二	247	—	248	
式三番叟	猿	58			
十訓抄	二	254			
积日本紀(下部兼方)	二	310	—	335	
	二	335	—	399	
积万葉集(徳川光圀等)	二	226	—	237	
寂蓮法師集	二	258			
拾遺和歌集	二	30	—	77	
	二	303	—	306	
	二	305	—	313	
	二	317	—	318	
	二	319	—	319	
	二	322	—	322	
	二	325	—	325	
	二	327	—	327	
	二	330	—	330	
	二	333	—	333	
	二	334	—	334	
	二	338	—	338	
	二	339	—	339	
拾遺和歌集抄目録(↓拾遺抄目録、人麿勸文による)	二	246	—	248	
拾遺和歌集抄目録(↓拾遺抄目録、人麿勸文による)	二	16	—	19	
	二	217	—	219	
	二	241	—	241	
	二	259	—	259	
	二	502	—	502	
拾芥抄(洞院公賢)	二	16	—	19	
袖中抄(顯昭)	遺	564			
衆方規矩	猿	56	—	56	
朱氏談綺(安積澹泊)	二	498			
真字伊勢物語(↓伊勢物語真名本)	遺	91			
春湊浪話(土肥経平)	二	404			
諸商人世帯形氣  商賈のそろばん形機妻	二	117			
衝口筈(藤貞幹)	一	423			
正三位物語(源氏 <sup>鎌倉</sup> による)	二	386			
正信偏(親鸞)	猿	34			
装束抄	二	201			
小宮別記	二	51			
職原式	妾	124			

統古今和歌集 二 18 473 杣 427  
統日本紀 統紀 胆 325 一 466 479 二 128

清朝紀聞(中川忠英↓清俗紀聞) 遺 339  
神別本紀(忌部浜成) 一 469 474 478 479 遺 36 38  
序 470 遺 37

仙覺奏狀(↓仙覺律師奏狀) 二 18  
せんざいの歌合(源順判↓野宮歌合) 二 319  
千載和歌集 二 9 杣 39  
せん茶の歌(秋成) 茶 232

—元正紀 胆 298 168  
—聖武紀 二 206 遺 181 杣 352 363 432 477

—祭場卷 二 128 遺 60  
神別記(二十卷本) 一 469

宗長手記 遺 355  
草木藥方雜記 遺 176  
統落くぼ物語(五井蘭州) 胆 268  
素性集 二 347

—称徳紀 杣 396  
—廃帝紀 二 37 杣 396

菅笠日記(宣長) 遺 268  
真曆考(宣長) 遺 23

曾根崎心中 曾初徳兵衛 猿 6 32 談 96  
た 二 236 285 323 杣 150

—光仁紀 杣 395 396 493  
—桓武紀 二 157 茶 238

西宮記(源高明) 二 227 292 遺 40  
政事要略 二 201

大東世語(服部南郭) 一 86  
大日本史 一 473 491 二 127 247 251 254 264 265 遺 60 496

—熊沢蕃山) 茶 242  
女子訓(熊沢蕃山) 一 479 二 228 362

清風瑣言(秋成) 胆 343 遺 215 593 茶 224 240 241 243  
青湾茶話(大枝流芳) 二 494 遺 574 茶 228

関寺小町 猿 64  
世間手代氣質 妻 117  
世間母親容気 妻 117

新古今和歌集 二 349 杣 39  
新拾遺和歌集 杣 424 472

世間娘容気 妻 117  
世間子息氣質 妻 117

丹羽与作待夜の小室節 談 157  
ち

新撰姓氏録 二 245 遺 505 杣 190 286 317  
新撰万葉集 菅家万葉集 二 242 遺 523

背振翁伝(秋成) 遺 594

新撰和歌集 遺 523

胆 351 一 69 二 426 遺 523  
杣 424 472

新撰万葉集 菅家万葉集 二 242 遺 523

新撰和歌集 遺 523

胆 351 一 69 二 426 遺 523  
杣 424 472

新撰万葉集 菅家万葉集 二 242 遺 523

新撰和歌集 遺 523

胆 351 一 69 二 426 遺 523  
杣 424 472

新撰万葉集 菅家万葉集 二 242 遺 523

新撰和歌集 遺 523

胆 351 一 69 二 426 遺 523  
杣 424 472

新撰万葉集 菅家万葉集 二 242 遺 523

新撰和歌集 遺 523



銚子銘(都良香、本朝文粹所収) 二 495

茶壺(狂言) 茶 231

つ

藤妻冊子(秋成) 胆 316  
遺 256  
596

堤中納言物語 虫めづる姫君の巻

貫之集 二 282  
286  
291  
292  
335  
375

釣狐(狂言) 猿 95

徒然草 猿 74

て

徹書記物語(正徹) 二 253  
266

鉄槌(青木宗胡) 妾 205

手爾葉大概抄(藤原定家) 二 452

手引草 談 120

点茶式 茶 232

と

道成寺(謡曲) 胆 255  
366  
375

同類和歌集 遺 528

読史余論(白石) 一 473  
二 127  
遺 60  
496

土左日記 胆 306  
一 208  
遺 159  
348  
385  
391

遺 235  
532  
533  
535  
642  
200  
369

土佐日記抄||北村法印の抄 遺 532  
533

鈍太郎(狂言) 談 131

中務集 胆 324  
二 351

仲文集 二 336

に

西山物語(綾足) 遺 408

日本逸史(鴨祐之) 一 479  
二 228  
308  
遺 40

日本紀寛宴和歌 一 432  
遺 121

日本紀私記 一 483  
二 271  
340  
遺 11

日本紀略 一 479  
二 241  
247  
406  
481  
遺 90

日本後紀 一 479  
二 247  
305  
404  
遺 39

日本三代実録 一 479  
二 247  
305  
404  
遺 241

日本春秋(日初) 一 473  
二 127  
遺 60  
191  
遺 496

日本書紀||養老の紀 春 148  
胆 354  
一 60  
194  
遺 424

450  
466  
467  
468  
469  
471  
474  
477  
478  
481  
484  
484  
3  
6  
7

51  
127  
128  
174  
219  
221  
222  
228  
235  
238  
240  
242  
245  
246  
247

251  
265  
275  
306  
310  
362  
393  
411  
415  
417  
419  
420  
425  
426  
427

428  
432  
遺 34  
35  
39  
45  
46  
62  
63  
93  
102  
105  
108  
019  
121

194  
265  
349  
496  
502  
523  
639  
41  
83  
107  
192  
212  
226  
382

414  
467  
茶 223  
239

の古巻裏書 二 219  
240  
遺 32

神代紀||神代がたり機 45  
胆 330  
一 471  
477

二 25  
83  
84  
94  
140  
151  
162  
172  
200  
220  
272  
294  
311  
318

335  
336  
361  
365  
372  
419  
425  
427  
436  
449  
460

61  
198  
272  
295  
317  
417  
425  
436  
449  
460

神武紀 一 423  
二 483  
460

崇神紀 胆 279  
一 477  
484  
二 33  
175  
483  
460

垂仁紀 一 483  
二 492  
172  
110  
360

景行紀 二 102  
110  
360

成務紀 二 135

仲哀紀 一 494  
二 60  
67  
334

神功紀 二 173  
205  
217  
296  
309

329  
352  
396  
159  
334

心神紀 一 419  
二 419  
173  
205  
217  
296  
309

仁徳紀 一 316  
二 329  
352  
396  
159  
334

310  
370  
遺 56  
637  
642  
219  
155  
168  
220  
296  
309

419  
477  
396  
159  
334

401  
422  
遺 637  
642  
219  
155  
168  
220  
296  
309

允恭紀 二 110  
149  
328  
350  
370  
遺 401  
422  
遺 637  
642  
219  
155  
168  
220  
296  
309

雄略紀	—	482	—	43	64	79	82	180	227
顯宗紀	242	遺	40	285	125	189	211	342	460
仁賢紀	—	70	307	200	260	260	481	—	—
武烈紀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
繼體紀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
安閑紀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宣化紀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
欽明紀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
用明紀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
推古紀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
皇極紀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
孝德紀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
齊明紀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
天智紀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
文武紀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
文武紀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日本文德天皇實錄	—	—	—	—	—	—	—	—	—

日本輿地通志	—	—	—	—	—	—	—	—	—
撰津志	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大和志	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日本靈異記	—	—	—	—	—	—	—	—	—
後の毎月集	—	—	—	—	—	—	—	—	—
俳諧新式	—	—	—	—	—	—	—	—	—
俳諧古今抄	—	—	—	—	—	—	—	—	—
俳諧十論	—	—	—	—	—	—	—	—	—
梅山秘録	—	—	—	—	—	—	—	—	—
万宝全書	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人麻呂伝	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人丸秘密抄	—	—	—	—	—	—	—	—	—
百椿集	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日吉社神道秘密記	—	—	—	—	—	—	—	—	—

風雅和歌集	—	—	—	—	—	—	—	—	—
袋草紙	—	—	—	—	—	—	—	—	—
富士山説	—	—	—	—	—	—	—	—	—
扶桑拾葉集	—	—	—	—	—	—	—	—	—
扶桑略記	—	—	—	—	—	—	—	—	—
風俗歌	—	—	—	—	—	—	—	—	—
風土記	—	—	—	—	—	—	—	—	—
出雲國	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伊勢國	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伊予國	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石見國	—	—	—	—	—	—	—	—	—
播磨國	—	—	—	—	—	—	—	—	—
常陸國	—	—	—	—	—	—	—	—	—
豊後國	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大和國	—	—	—	—	—	—	—	—	—
夫木和歌集	—	—	—	—	—	—	—	—	—

兵家茶話(日夏繁高)

遺 456

万葉考(真淵)

二 20  
226  
252  
269  
379  
遺 204

平家物語

二 167

万葉集

談 106  
春 213  
胆 299  
326  
328  
329  
352  
368  
369  
一 70

ほ

保元物語

二 404

万葉集抄(紀貫之撰、八雲御抄による)

二 19  
袖 26

万葉集鈔(前中書王、万葉緯による)

法隆寺伽藍縁起并流記資財帳

二 46  
47  
165  
308  
427

万葉集鈔(季吟)

二 20  
218  
223  
237  
239  
袖 27

堀河院後度百首(↓永久四年百首)

二 39

万葉集註釈(仙寛抄)

二 10  
19  
20  
223

本佐録(本多正信)

一 488

万葉集目安補正(秋成校)

遺 664

ま

本朝文粹

二 333  
遺 529

万葉抄(宗祇抄)

二 20  
袖 27

每月集(曾根好忠)

一 157

万葉代匠記(初稿本)

二 20  
223  
226  
袖 29

枕詞燭明抄(長流)

袖 27

万葉見安(堯以)

二 19  
223  
袖 27

枕草子(清少納言の草子)

猿 84  
胆 353  
袖 20  
二 40

若沖の新注

二 226  
袖 30

増鏡

水鏡

内野の雪

遺 569

躬恒集

一 479

くめのさら山

二 261

みなしくり(其角編)

胆 319

松風(謡曲)

猿 44

源順家馬毛名歌合

二 274  
袖 13

松屋会記(松屋久重)

胆 308  
遺 528

源順集

二 284  
311  
323  
341  
362  
384

万葉緯(今井似閑)

二 19  
226

三輪(謡曲)

胆 255  
366  
375

明朝紫硯(大岡春卜) 一 187

む

無名抄(長明) 二 258  
遺 230  
杣 463

紫式部日記 遺 116

め

鳴鶴園の記(秋成) 遺 292

明月記(藤原定家) 談 144

や

家持集||歌仙集 胆 328  
遺 44

八雲御抄(順徳天皇) 二 16  
19 217  
241 299  
杣 26  
395

八島(謡曲) 猿 45

夜船閑話||夜船物語(白隠) 遺 645

矢の根曾我 猿 37

山霧の記(秋成) 一 112

倭姫命世紀 二 307  
311 313  
323 331  
334 335  
343 345  
345 366  
遺 651

大和物語 談 135  
二 69  
165 166  
166 293  
300 300  
遺 339

よ

よし野紀行(几董) 遺 586

能宣集 二 284  
286  
291 303  
324 324  
349

吉野都女楠||女楠(近松) 猿 6

ら

羅山文集(↓羅山先生文集) 遺 553

濫觴抄(大日本史による) 一 491

り

律令||律令格式・大宝の令春 166 二 9  
89 248  
270

— 軍法令 一 477  
杣 247  
314

— 職員令 二 250  
杣 314

— 儀制令 杣 194

— 衣服令 二 43

— 喪葬令 二 246

龍巖集 二 482

令義解 一 477  
二 9  
172 250  
270

る

類聚国史 一 479  
二 340  
406 501

類聚万葉集(↓類聚古集) 二 16  
19 223  
杣 26

類聚古万葉集作者目録||万葉目録(人麿勸文による) 二 16  
246  
杣 31

れ

靈語通(秋成) 二 284

— 仮字篇 一 212  
二 275  
杣 30

— 名物篇 二 305

— 国号篇 二 336

— 歷代皇紀(大日本史による) 一 491

— 連歌提要(沾徳) 二 451

ろ

— 老人雑話(江村専齋) 胆 306  
遺 87  
533 534

わ

— 和漢朗詠集 遺 529  
杣 210

— 和名類聚抄||和名抄 胆 299  
一 69  
457 491

221 177 338 284 493 36 43 56 67 80 83 86 110 137 156 182 201 281

340 180 350 288 二 36 43 56 67 80 83 86 110 137 156 182 201 281

347 183 355 292 314 427 314 428 322 324 156 182 201 281

352 185 363 293 294 302 304 308 314 322 324 156 182 201 281

363 186 384 383 390 390 415 308 86 110 137 156 182 201 281

384 523 杣 427 314 428 322 324 156 182 201 281

418 107 460 107 415 308 86 110 137 156 182 201 281

420 155 460 183 196 217 220

460 183 196 217 220

— (十卷本、二十卷本) 一 210  
211

— のはじめに林道春の書れし文 二 284

Ⅱ 漢籍・仏典 その他

あ

晏子春秋(齊、晏嬰、陶説による) 茶 241

い

一家言(清、李漁) 一 116

一切経 春 159 遺 156

異物志 遺 198

医通(明、韓恣、↓韓氏医通) 談 119

因果経 猿 32

韻鏡(宋、張麟之) 猿 86

隱居放言(明、夏基) 一 226

印藪(明、王常、↓集古印譜) 一 495

印範(藩雲杰) 一 495

え

瘞旅文(明、王陽明) 二 228

易经 胆 272 遺 196 260 273 遺 149 袖 10 444

越国史 遺 128

越絶書(漢、袁康) 二 197 袖 446

淮南子 一 471 二 199 遺 153 431 袖 467 478

円覚経

淵鑑類函(清、張英等) 遺 420

袁宏漢紀(晋、袁宏、↓後漢紀) 二 124 遺 84 495

お

横江詞(唐、李白) 二 68 遺 380

温疫論(明、吳有性) 談 119

か

開元天宝遺事(五代、王仁裕) 一 69

芥子園画伝(清、王槩等) 一 187 213 216 遺 188

花鏡(清、陳浪子、↓秘伝花鏡) 遺 188

学古編(元、吾丘衍) 一 495

花史左編(明、王路) 遺 175 182

甘氏印王(明、甘暘、↓印正附説) 一 495

閑居賦(晋、嵇康) 二 36 遺 181

韓詩外伝(漢、韓嬰) 二 199 袖 451

漢書(漢、班固) 一 211 484 493 袖 446

武帝紀 一 495

地理志 一 491

賈誼伝 春 156

晁錯伝

観音経 一 477

魏志(三國志魏書) 一 491 492 493

き

玉篇(梁、顧野王) 二 415 遺 93

漁父辞 談 192 袖 501

金匱要略(漢、張機) 機 44 談 119

錦繡万花谷 遺 182

金陵瑣事(明、周暉) 遺 182

く

群芳譜(明王象晋) 遺 175 180

け

荆楚歲時記(晋、宗懷) 機 8

華嚴経 春 152 二 187 遺 69 105

こ

孝経 猿 25

孔子家語 胆 368 袖 447

黄帝素問||素問||素難 機 45 談 119 春 159

後漢書(宋、范曄)

— 211 杧 485

— 百官志

— 204 杧 466

— 李膺伝

杧 465

— 東夷伝

— 491

古今奇観注6 || 墨政斎奇観

— 228 遺 41

古今印史(明、徐官)

— 495

五雜俎(明、謝肇淛)

— 479 遺 493 502

吳子(周、吳起) ↓ 孫吳

猿 2

甲古戰場一文(唐、李華)

— 131

金剛經

— 46

さ

— 最勝王経

— 198 杧 446 456

— 蔡邕女戒

談 129

— 山家清供(宋、林洪)

— 483

— 三論

春 154

し

— 爾雅

— 206 杧 340 482

— 史記(漢、司馬遷)

妾 126 遺 211 杧 114

— 孝武本紀

— 199 杧 451

— 伍子胥列伝

— 416

— 范睢列伝

杧 451

— 李斯列伝

— 198 杧 446

— 蒙恬列伝

杧 465

— 張丞相列伝(周昌伝)

— 477

— 貨殖列伝

雨 133

— 詩経 || 詩・毛詩

雨 42 春 169 二 19 38 198 204 273 274

482 遺 49 50 147 杧 10 34 446 465

— 大雅・小雅・国風

遺 119

— 国風周南關雎・卷耳

遺 115

— 国風召南行露 || 多露行露

春 185 二 38

— 国風衛木瓜

遺 178

— 国風唐蟋蟀

— 416

— 国風豳東山

— 314

— 小雅鹿鳴天保

遺 461 杧 463

— 詩経図後序

胆 293 遺 380

— 七儒解(明、宋濂)

— 190 遺 80

— 七修類彙(明、郎瑛)

遺 139

— 試茶録(宋、朱子安)

— 486

— 七碗歌(唐、盧同)

— 498

— 事物紀原(宋、高承)

— 204

— 积氏五供養

遺 181

— 积名(漢、劉熙)

春 164 二 9 108 217 241

遺 42 杧 21 54 茶 246

— 寰泉小品(明、田芸衡)

— 493

— 集韻(宋、丁度等)

— 413

— 集韻韻會

— 413

— 秋風賦注7(唐、劉禹錫)

— 9

— 周礼

— 203 杧 462

— 荀子

談 110 二 416 杧 465

— 春秋

妾 120 遺 103 106 114

— 春秋左氏伝

胆 遺 368 杧 425

— (宋公)秋興賦

— 200 杧 457

— 遵生八牋(明、高濂)

— 496

— 順正理論

— 198 杧 447

— 十四経

猿 56

— 春夜宴桃李園序(唐、李白)

— 97 98

傷寒論(漢、張機) 卷 135 機 44 說 119 胆 368

茗溪詩話(↓漁隱叢話) 二 497

十六湯品(唐、蘇夔) 二 490

書經書 二 274 遺 22 49 袖 10

——辭典 春 165 二 108 199 217 241 遺 43 袖 22 茶 246

——大禹謨 袖 451

食物本草(明、李時珍) 二 482 487

真音彙音 二 500

秦漢印統(明、羅王常) 一 495

心史(宋、鄭思肖) 胆 311

——一是居士傳 胆 310

晉書 一 493 袖 483

水滸伝 雨 35

水品論(鐘伯敬) 二 493

西湖遊覽志(明、田汝成) 遺 177

西廂記 一 477

世說新語(宋、劉義慶) 袖 485

說文解字(漢、許慎) 春 165 一 89 491 二 108

千金方(唐、孫思邈、↓備急千金要方) 93 127 511 袖 202 461 469 茶 246

千字文 遺 255 514

錢神論(晉、魯褒) 胆 367 遺 520

全浙兵制考(明、侯繼高) 竹錄日本風土記 二 422

煎茶詩(宋、丁謂) 二 493

宣和印史(明、來行学) 一 495

莊子南華經 猿序談 189 胆 259

齊物論 二 197 袖 446

大宗師 二 197 袖 446

則陽 二 9 241 遺 42

——盜跖 二 198 袖 446

統說郭 茶 231

統博物志(宋、李石) 二 232 袖 253

素書(漢、黄石公) 胆 257

素難黃帝素問・難經

孫吳孫子・吳子 猿 2

孫子 猿 2

大愛比丘尼經 遺 356

大觀茶論(宋、徽宗) 二 484 485 486

大荒賦(魏、陳琳) 二 196

大乘經 雨 43

大藏經 猿序

大人賦(漢、司馬相如) 袖 465 480

大般若經 二 232 袖 253

地球之圖(オランダ) 一 425

知新錄(清、王棠) 二 494 502

茶歌(唐、盧同)	二 488	遺 393	通志略(宋、鄭樵)	遺 182	般若經	猿 40
茶解(明、羅廣)	二 495		蜜鬪志	二 497		
茶記(明、熊明遇、 ↓羅芥茶記)	二 491		程子外書	遺 198		
茶經(唐、陸羽)	二 482 488 489 490 491	493 496 497 茶 231 245	天中記(明、陳耀文)	胆 354 茶 234	百菊集譜(宋、史籀)	胆 299 遺 184
茶史(清、劉源長)	二 484 495 497 498		唐韻	二 413	百丈清規(元、釈徳輝)	二 482 499
茶信(明、陸樹声)	遺 215		東国通鑑	一 483	品茶要録(宋、黄儒)	二 486 487
茶説(宋、蘇東坡)	二 483		陶説(清、朱琰)	茶 241	文則(宋、陳騭)	二 273 遺 50
茶箋(明、閻龍)	二 495		難經↓素難	な	碧巖集	茶 228
茶疏(明、許次行)	二 488 495		猿 56 機 45 談 119 春 159	二 482	方言(漢、揚雄)	二 217 241 482
茶譜(五代、毛文錫)	二 487 488 490 491 492 493 494 495		日知録(清、顧炎武)	二 482	法華經	二 232 遺 105 袖 253
茶略(陳元輔)	二 483 495 496 498 499 499		涅槃經	二 197 431 袖 446	本草(↓神農本草)	二 482 483
茶寮記(明、陸樹声) <small>注8</small>	二 498		白氏文集	二 203	本草衍義(日知録による)	二 482
茶侶七類	遺 216		は	二 198 袖 447	本草綱目(明、李時珍)	二 187
茶録(宋、蔡襄)	二 489 497		博物志(晋、張華)	二 130	無量壽經	袖 447
中庸	袖 259		哭三白溝一文(明、李夢陽)	二 483	蒙求(唐、李瀚)	一 90
長慶集(↓白氏長慶集)	遺 179		伐茶飲序(唐、菴母長)			
頂真天子經	遺 356					



孟子 雨42 二203 袖463

文選(梁、蕭統) 一211 袖481

—(宋玉)風賦 二206 袖469

—(張平子)埽田賦 二205 袖469

—(嵇康)琴賦 二203 204 袖463 465

—(謝靈運)登池上樓 二87 袖266

—(鮑明遠)翫月城西門廡中 二378

—(曹子建)求通親表 袖486

—(司馬相如)上疏諫獵 二196 袖444

—(李少卿)答蘇武書 二198

—(顏延年)三月三日曲水詩序 二9

唯識 遺74

遊仙窟(唐、張鷟) 二304 袖425 456

西陽雜俎(唐、段成式) 遺199

輿地志 一499 袖451

禮記 二198 274 362 416 袖10 446

—曲禮 遺589

—王制 胆298

—月令 猿101 一109 159 二55 遺127 128 129 130

—棗記 二217 241 遺43

蘭亭記(晉、王羲之) 二206 袖469

六書通(明、閔齊伋) 一495

六經 二273 416 437 袖10

老子 論語 機45 談111 115 151 187 胆368 遺514

列女傳(漢、劉向) 二203 416 袖251

楊朱篇 二203 416 袖251

列子 談122

靈台儀象志(清、南懷仁等) 遺486

禮聘<sup>注</sup> 遺486

律曆淵源(清、允祿等) 遺486

呂氏春秋(秦、呂不韋) 遺139 144 146 148

楞嚴經 二197 袖446

朝文集)かまたは「奉管右相府書」(本朝文粹)をさす。

4 万葉の題号論、特に葉の字義論をのべる場合の異名。

5 引用文は、同じ作者の「養生論」(文選所収)に拠っている。

6 高田衛氏『上田秋成研究序説』二二八頁参照。

7 正しくは「秋声賦」

1 栄花物語月のまにみえる万葉成立に関する記事をさす場合、すべてこの異名を用いている。

2 拙稿「宮木が塚と法然上人伝」(富山大学教養部紀要9、昭和52年3月)参照

3 中村幸彦氏古典大系春雨物語補注によれば「預論革命議」(本

8 引用文は同書附録の「煎茶七類」(徐謂)から。

9 札記（附録）または饒礼（附録）のことかと思われるが、引用文と同じものはいずれにも見あたらない。

付記

作製にあたって、勤務先を同じくする佐藤進氏には漢籍の調査に  
関して多大の協力を得ました。また、高島要氏からも多くの教示を

## 夏目漱石の「拙」と陶淵明

河 辺 正 行

### 一 はじめに(陶淵明について)

まずはじめに陶淵明（ついで）についての概説をしておく。陶淵明(三六五  
〜四二七)は中国の東晋時代の末期から南朝(劉)宋初期にかけて  
生きた中国の代表的な詩人である。江州尋陽郡柴桑県（今江西九江）に生まれた。  
名は潜。一説に名が淵明字を元亮ともいう。諡は靖節。東晋初期の  
名将陶侃（ちかん）の曾孫とされるが確かではない(陶侃は東晋の初めその武  
功によって長沙郡公・大司馬(最高軍司令官)にまで榮進した)。

得ました。記して謝意を表します。

末筆ながら、このたび退官される高羽五郎先生の御健康を心から  
お祈りいたします。先生とともに過した在学中の二年半は私共にと  
ってひととき意味深い日々でありました。怠惰な学生であった私に  
とって、先生の退官を機に刊行される本号にこのようなかたちで発  
表の機会を得たことを心からうれしく思います。

陶淵明の家柄は、代々南方土着の下級貴族で、生活のため二十九歳  
の時初めて出仕し地元江州の祭酒(州の教育長)に就任した。以後  
数回官途にいたが肌合わず転々と職を変えた。義熙元年(四〇  
五)八月に第五回目の出仕として彭沢県令(知事)に就任した。そ  
してやはりこの職も肌に合わず僅か八十余日で自発的に退官し「帰  
去来の辞」にその気持ちを託し「拙」を守って故郷に帰り、以後一  
生農耕生活を送った。時に淵明四十一歳の暮れのことである。彼が  
郷里柴桑に帰隠して三年目にあたる義熙四年の六月、突然の火事に